

NEWS RELEASE

2021年11月11日(木)15:00リリース

安全地帯デビュー40周年、玉置浩二ソロデビュー35周年の幕開けを飾る

オーケストラ公演ツアー開催決定、新たな理想郷を目指して、明日への道を切り拓く



ビルボードジャパン（株式会社阪神コンテンツリンク〔阪急阪神ホールディングスグループ〕本社：大阪市福島区、代表取締役：清水 奨）は、玉置浩二×オーケストラ公演ツアーの新シリーズ「billboard classics 玉置浩二 35th ANNIVERSARY LEGENDARY SYMPHONIC CONCERT 2022 “Arcadia -理想郷-”」の開催を決定した。

2021年6月から全国7都市で開催されたツアーでは、ロシア語で名付けられた副題“КАПЕЛИ”（カペーリ）（＝「雪解けの雫」）がまさに希望の大河となり、東京ガーデンシアターでの感動のフィナーレへと繋がった。安全地帯としてデビュー40周年、ソロデビューから35周年という節目の年を迎える2022年に玉置浩二が新たなオーケストラとのツアーに挑む。

7年目に入りまさに伝説と化したオーケストラ公演は、新たに「LEGENDARY SYMPHONIC CONCERT」と銘打ち、自らが希望の星となり明日への道を切り拓く。前ツアーで6年ぶりにタクトを振った大友直人をはじめ、田中祐子、円光寺雅彦、柳澤寿男、湯浅卓雄など世界的に活躍する指揮者陣と共に、全国7都市11公演の舞台上で玉置浩二が奇跡ともいわれる歌声で聴衆に訴えかけるものは何か？新たな「理想郷（アルカディア）」にむけた伝説の始まりを見逃すな！

【公演情報】

■公演名： billboard classics 玉置浩二 35th ANNIVERSARY LEGENDARY SYMPHONIC CONCERT 2022 “Arcadia -理想郷-”

（読み）ビルボードクラシックス タマキコウジ サーティーフィフス アニバーサリー レジェンダリー シンフォニック コンサート ニセンニジュウニ “アルカディア”

■開催日時・会場：

- ①【東京】2022年2月26日(土) 東京国際フォーラム ホールA 開場 16:00 開演 17:00
- ②【大阪】2022年3月2日(水) フェスティバルホール 開場 17:30 開演 18:30
- ③【大阪】2022年3月3日(木) フェスティバルホール 開場 17:30 開演 18:30
- ④【札幌】2022年3月24日(木) 札幌文化芸術劇場 hitaru 開場 17:30 開演 18:30
- ⑤【熊本】2022年4月8日(金) 熊本城ホール メインホール 開場 17:30 開演 18:30
- ⑥【名古屋】2022年4月12日(火) 愛知県芸術劇場大ホール 開場 17:30 開演 18:30
- ⑦【東京】2022年4月23日(土) 東京文化会館 大ホール 開場 16:00 開演 17:00
- ⑧【東京】2022年4月24日(日) 東京文化会館 大ホール 開場 15:00 開演 16:00
- ⑨【福岡】2022年5月10日(火) 福岡サンパレス ホテル&ホール 開場 17:30 開演 18:30
- ⑩【西宮】2022年5月28日(土) 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール 開場 16:00 開演 17:00
- ⑪【西宮】2022年5月29日(日) 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール 開場 15:00 開演 16:00

■ソリスト：玉置浩二

■管弦楽・指揮：

- ①【管弦楽】東京フィルハーモニー交響楽団 【指揮】大友直人
- ②【管弦楽】大阪交響楽団 【指揮】田中祐子
- ③【管弦楽】大阪交響楽団 【指揮】田中祐子
- ④【管弦楽】札幌交響楽団 【指揮】円光寺雅彦
- ⑤【管弦楽】九州交響楽団 【指揮】柳澤寿男
- ⑥【管弦楽】京都フィル・ビルボードクラシックスオーケストラ 【指揮】柳澤寿男
- ⑦【管弦楽】東京フィル・ビルボードクラシックスオーケストラ 【指揮】大友直人
- ⑧【管弦楽】東京フィル・ビルボードクラシックスオーケストラ 【指揮】大友直人
- ⑨【管弦楽】九州交響楽団 【指揮】円光寺雅彦
- ⑩【管弦楽】日本センチュリー交響楽団 【指揮】湯浅卓雄
- ⑪【管弦楽】日本センチュリー交響楽団 【指揮】湯浅卓雄

■主催：ビルボードジャパン（阪神コンテンツリンク）

【札幌公演】北海道新聞社、道新スポーツ、エフエム北海道、道新文化事業社

■企画制作：ビルボードジャパン（阪神コンテンツリンク）

■後援：米国ビルボード、TKU テレビ熊本（熊本公演）、九州朝日放送（福岡公演）

■公演公式サイト：<https://billboard-cc.com/classics/tamaki2022-arcadia/>

【チケット情報】

■チケット価格：13,000円（全席指定・税込）※特製ブックレット付 ※未就学児入場不可

■チケット販売スケジュール ※お一人様1公演につき4枚まで

◎ローソンチケット先行：2021年11月22日（月）15:00～12月5日（日）23:59

◎ビルボードライブ「Club BBL」会員先行：2021年11月22日（月）15:00～11月28日（日）23:59

◎各プレイガイド先行：2021年12月6日（月）～

◎一般発売：2022年1月29日（土）10:00～

■チケット取扱いプレイガイド

【東京】

キョードー東京 <https://tickets.kyodotokyo.com/tamaki2022bbc/>

チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/tamaki2022bbc/>（Pコード：207-312）

ローソンチケット <https://l-tike.com/tamaki2022bbc/>（Lコード：72577）

イープラス <https://eplus.jp/tamaki2022bbc/>

【大阪】【西宮】

ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード: 大阪・西宮共通 55856)
チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/kojitamaki-o/> (Pコード: 大阪・西宮共通 207-149)
イープラス <https://eplus.jp/>
CN プレイガイド 0570-08-9999 <http://www.cnplayguide.com/>

【札幌】

道新プレイガイド <https://doshin-playguide.jp/>
チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード: 207-082)
ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード: 12439)

【熊本】【福岡】

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード: 熊本 207-079、福岡 207-080)
ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード: 熊本 84238、福岡 81305)
イープラス <https://eplus.jp/>

【名古屋】

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード: 207-241)
ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード: 41624)
イープラス <https://eplus.jp/>

※収容率は政府の方針、感染状況等により判断いたします。なお収容率 100%で実施する場合、前後左右を空けずにお座りいただくこととなりますので予めご了承ください。

※チケット購入の際は必ず、下記ページに掲載している注意事項をご確認の上、チケットをお求め下さい。

<お客様へのお願いと感染予防対策について: <https://billboard-cc.com/classics/200924notice/>>

■コンサートに関するお問い合わせ

【東京】キョードー東京 0570-550-799 オペレーター受付時間 (平日 11:00~18:00/土日祝 10:00~18:00)

【大阪】【西宮】キョードーインフォメーション 0570-200-888 (平日・土曜 11:00~16:00)

【札幌】道新プレイガイド 0570-00-3871 (10:00-17:00 日曜定休)

【熊本】【福岡】キョードー西日本 0570-09-2424 (11:00~17:00 日曜日、祝日休み)

【名古屋】サンデーフォークプロモーション 052-320-9100 (全日 12:00~18:00)

【番組出演情報】

NHK MUSIC SPECIAL 「玉置浩二×オーケストラ ～たどり着いたライフワーク～」

11月11日(木) 午後10時30分~午後11時15分 NHK総合

11月16日(火) ※月曜深夜 午前0時48分~午前1時33分 NHK総合(再放送)

出演: 玉置浩二 ゲスト: 玉置典子 大友直人 山下康介 ディマシュ・クダイベルゲン

ナレーション: 山崎育三郎

※放送時間は変更になる場合があります

【DVD/BD 発売情報】

玉置浩二「billboard classics PREMIUM SYMPHONIC CONCERT 2021 『THE EURASIAN RENAISSANCE “K A П E Л Ъ”』 LIVE」

発売日: 2021年12月8日(水)

DVD:COBA-7255/6 価格:7,700円(税込) BD:COXA-1284 価格:8,800円(税込)

孤高のヴォーカリスト玉置浩二×オーケストラの奇跡のステージが完全映像化!

ファン待望であるオーケストラ公演の映像作品がリリース決定!

《収録楽曲》

1. 歓喜の歌

- 2.ロマン
- 3.祈りの鐘～Sacred Love
- 4.いつもどこかで
- 5.キラキラ ニコニコ
- 6.メドレー (MR.LONELY～プレゼント～サーチライト)
- 7.FRIEND
8. 歌劇「フィガロの結婚」序曲
- 9.GOLD
- 10.行かないで
- 11.メドレー (ワインレッドの心～じれったい～悲しみにさよなら)
- 12.JUNK LAND
- 13.夏の終りのハーモニー
- 14.田園
- 15.メロディー

他、特典映像あり

※収録日・収録場所：2021年7月20日（火）東京ガーデンシアター

日本コロムビア <https://columbia.jp/tamakikoji/>

【添付資料】出演者プロフィール

玉置浩二



1958年生まれ。北海道出身のシンガーソングライター。1982年バンド「安全地帯」としてデビュー。「ワインレッドの心」、「恋の予感」、「悲しみにさよなら」など80年代の音楽シーンを席卷。ソロ活動で作詞も手がけ始め、「田園」「メロディー」をはじめとする多くのヒットを生み出す。2012年には、オリジナルレーベル「SALTMODERATE」を発足。安全地帯とソロの活動を並行して行いながら、2014年、7年ぶりとなるオリジナル・ソロ・アルバム『GOLD』、そして同じ時代を共有してきたアーティストの名曲を歌ったアルバム『群像の星』をリリース。2015年・2016年、国内外の主要オーケストラと共演するビルボードクラシックス公演を実施。2016年6月、バルカン特別編成交響楽団に管弦楽作品「歓喜の歌」を謹呈。2017年、ソロデビュー30周年そして安全地帯デビュー35周年というダブルアニバーサリーイヤーでは、日本武道館で開催した安全地帯35周年記念ライブでは2日間で2万5000人の動員を記録した。2018年・2019年もオーケストラ公演、ソロツアーと精力的に活動。2019年11月安全地帯として約30年ぶりのスタジアムライブ「安全地帯 IN 甲子園球場 さよならゲーム」を敢行、3万8000人を動員し、圧倒的なボーカル力で観客へ感動をもたらした。2020年12

月、6年ぶりとなるニューアルバム『Chocolate cosmos』リリース。第71回NHK紅白歌合戦に24年ぶりの出場を果たし、オーケストラとともに披露した「田園」は、熱い感動とともに全国で大きな反響を呼んだ。2020年12月、6年ぶりとなるニューアルバム『Chocolate cosmos』リリース。第71回NHK紅白歌合戦に24年ぶりの出場を果たし、オーケストラとともに披露した「田園」は、熱い感動とともに全国で大きな反響を呼んだ。

2021年、1月より再開されたオーケストラ公演「PREMIUM SYMPHONIC CONCERT 2021『THE EURASIAN RENAISSANCE “O T T E П E Л Ь (オーチェペリ)”』(4都市6公演)、続いて6月より開催の“K A П E Л Ь (カペーリ)”(7都市8公演)公演では、各地で大喝采を巻き起こした。同年9月からはバンド編成による「玉置浩二 Concert Tour 2021 故郷楽団～Chocolate cosmos」を全国24都市/27会場にて敢行。2022年にはソロデビュー35周年そして安全地帯デビュー40周年を迎える。オフィシャルサイト <https://saltmoderate.com/>

大友直人（指揮）



©Rowland Kirishima

桐朋学園大学を卒業。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、岡部守弘各氏に師事した。桐朋学園大学在学中からNHK交響楽団の指揮研究員となり、22歳で楽団推薦によりNHK交響楽団を指揮してデビュー。現在、群馬交響楽団音楽監督、東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団ミュージックアドバイザー。また、2004年から8年間にわたり、東京文化会館の初代音楽監督を務めた。在京オーケストラの定期演奏会にとどまらず、これまでにコロラド交響楽団、インディアナポリス交響楽団、ロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団などに招かれ、2012年にはハワイ交響楽団のオープニングコンサートを指揮、同年6月にはロレーヌ国立管弦楽団の定期公演に客演。絶賛を博し、欧米での活躍にも大きな期待が寄せられている。第8回渡邊暁雄音楽基金音楽賞(2000年)、第7回齋藤秀雄メモリアル基金賞(2008年)を受賞。

田中祐子（指揮）



©sajihideyasu

東京藝術大学大学院指揮科修士課程首席修了。フランスのボルドー、リヨンを経て、現在パリ在住。東京国際コンクール「指揮」入選、ブザンソン国際指揮者コンクールのセミファイナリスト。2012年渡独。2013年クロアチア国立歌劇場リエカ管弦楽団に招かれ海外デビュー。N響、日フィル、読売日響をはじめ全国各地のオーケストラと共演を重ねる。2015-16-17年シーズンNHK交響楽団首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィ公式アシスタント。デュトワ、エッシェンバッハ、ヤノフスキ等のアシスタントおよび合唱指揮を担当。ミョンファン指揮東フィルの合唱指揮も担当した。2018年4月-2020年8月オーケストラ・アンサンブル金沢指揮者。平成30年度五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。エコールノルマル音楽院の指揮科・高等ディプロム課程にてドミニク・ルイス、ジュリアン・マスマンデ氏に師事しさらなる研鑽を続けている。2020年度ロームミュージックファンデーション奨学生。NHK「名曲アルバム」、「ららクラシック」などメディア出演多数。

円光寺雅彦（指揮）



©K.Miura

桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を斎藤秀雄氏、ウィーンでオトマール・スウィトナー氏に師事。東京フィル指揮者、仙台フィル常任指揮者、札幌正指揮者、名古屋フィル正指揮者を歴任。N響、読響、東響、新日本フィル、大阪フィル、広響をはじめとするほとんどの国内オーケストラ、海外ではプラハ響、BBCウェールズ響、ベルゲン・フィル、フランス・ブルターニュ管弦楽団などに客演。テレビ等の番組出演など、幅広い活躍を続けている。

柳澤寿男（指揮）



©木之下晃

2005-2007年、マケドニア旧ユーゴ国立歌劇場首席指揮者。2007年、UNMIK 国連コソボ暫定行政ミッション下のコソボフィル響首席指揮者に就任。

同時に、サンクトペテルブルク響、プラハ響、サラエボフィル、セルビア放送響、ベオグラード国立歌劇場、アルバニア放送響等に客演。2007年、バルカン半島(特に旧ユーゴスラヴィア)の民族共栄を願って、バルカン室内管弦楽団を設立。2016年、国連欧州本部総会議場(在ジュネーブ国際機関日本政府代表部・国連欧州本部主催)で演奏を披露。2019年には、コソボの

芸術・文化の発展とバルカン室内管弦楽団を通じた地域和平への

の尽力によりコソボ大統領勲章(文化功労賞)を叙勲される。

日本国内では、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東京都響、東京響、東京シティ・フィル、札幌響、仙台フィル、群馬響、名古屋フィル、京都市響、大阪フィル、日本センチュリー響、関西フィル、兵庫芸術文化センター管、九州響、アンサンブル金沢等に客演。

現在、バルカン室内管弦楽団音楽監督、コソボフィルハーモニー交響楽団首席指揮者、ベオグラード・シンフォニエッタ名誉首席指揮者、東北ユースオーケストラ指揮者、京都フィルハーモニー室内合奏団ミュージックパートナー。著書に「バルカンから響け！ 歓喜の歌(晋遊舎)」。

湯浅卓雄（指揮）



© Peter Devlin

現在、最も国際的な活躍が目覚しい日本人指揮者の一人である湯浅卓雄は、大阪に生まれ、高校卒業と同時にアメリカに留学。シンシナティ大学音楽院作曲理論科を経て、ウィーン国立音楽大学指揮科でハンス・スワロフスキー、フランコ・フェラーラ、イーゴリ・マルケヴィッチ、ロヴロ・フォン・マタチッチに師事。

1976年 ウィーン・トンキュンストラ管弦楽団を指揮してデビュー。1979年 フィテルベルク国際指揮者コンクールに入賞するが、その際オーケストラが独自に特別賞を授与したことが話題となり、ワルシャワ国立フィル、ポーランド国立放送交響楽団などの定期演奏会に度々登場するなど、欧州各地で着実に実績を重ねる一方、1984年から5年間群馬交響楽団指揮者も務めた。1989年から1994年までBBCスコットランド交響楽団首席客演指揮者、1997年から2005年まで英国・アルスター管弦楽団首席客演指揮者を務める一方、ロンドン・フィル、ロイヤル・リヴァプール・フィルをはじめとする英国の主要オーケストラや、

ロイヤル・フランダース・フィル、オスロ・フィル、ラハティ響、ベルリン響、ザグレブ・フィル、シドニー響、ニュージーランド響などに度々客演。2010/11年シーズンの主な公演として、フランス国立管弦楽団、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団、ポルト国立交響楽団、オース交響楽団などが挙げられる。海外での充実した活動に加え、日本国内にも度々帰国し、各主要オーケストラと共演を重ねている。湯浅卓雄の演奏はBBCをはじめとする世界各国の放送などにおいても度々紹介されているが、EMIとの2枚のCDに加え、1996年からは、世界有数の流通量を誇る『ナクソス』と専属契約を結び、次々とリリースされるCDは注目を集めると同時に高い評価を獲得している。とりわけ、「日本作曲家選輯」では中心的な役割を担っている。2007年井植文化賞文化芸術部門受賞。東京藝術大学、演奏芸術センター教授を経て、東京藝術大学名誉教授。

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本のオーケストラとして最古の歴史をもち、メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。自主公演の他、新国立劇場他でのオペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏など、高水準の演奏活動を展開。また、海外公演も積極的に行い、国内外から高い注目を集めている。

1989年からBunkamura オーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千

千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。公式ウェブサイト <https://www.tpo.or.jp/>

大阪交響楽団

1980年「大阪シンフォニカー」として創立。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子（故人）が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。2001年1月に、楽団名を「大阪シンフォニカー交響楽団」に、2010年4月「大阪交響楽団」に改称した。2022年4月、新指揮者体制として、山下一史（常任指揮者）、柴田真郁（ミュージックパートナー）、高橋直史（首席客演指揮者）の3名の就任を予定しており、さらなる楽団の飛躍が期待されている。2006年4月、大和ハウス工業株式会社 代表取締役会長 CEO（当時）樋口武男氏が運営理事長を経て、2018年11月公益社団法人大阪交響楽団理事長に就任。2020年10月に大和ハウス工業株式会社 代表取締役社長 CEO 芳井敬一氏に理事長をバトンタッチした。楽団公式ホームページ (<http://sym.jp>)

札幌交響楽団

1961年発足。北海道唯一のプロ・オーケストラとして、「札幌」の愛称で親しまれる。透明感のあるサウンドとパワフルな表現力は、国内はもとより海外でも評価が高い。歴代指揮者には、名誉創立指揮者の荒谷正雄、ペーター・シュヴァルツ、岩城宏之、秋山和慶、尾高忠明、マックス・ボンマーなどが務めた。現在、名誉音楽監督の尾高忠明、名誉指揮者のラドミル・エリシュカ、友情客演指揮者に広上淳一、指揮者として佐藤俊太郎と垣内悠希を擁し、2018年4月からは首席指揮者としてスイスの名指揮者マティアス・バーメルトを迎えた。現在、年間公演数は約120回、さらにアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでいる。海外ではヨーロッパ、アメリカ、アジア諸国を訪問し、各国で好評を博した。

九州交響楽団

1953年創立。1973年に改組、のち財団法人化を経て2013年から「公益財団法人九州交響楽団」となり、九州の常設オーケストラとしてアジアの交流拠点都市“福岡”に本拠地を置く。アクロス福岡での定期演奏会をはじめ、天神でクラシック、名曲・午後のオーケストラの自主公演の他、青少年向けのコンサート、オペラやバレエ、合唱との共演、ポップス、映画音楽、ファミリーコンサートなど内容は多岐に渡り、福岡県を中心に九州各地で年間約130回の演奏活動を行っている。2013年小泉和裕が音楽監督に就任後「ベルリオーズ／幻想交響曲」、「ベートーヴェン／交響曲第9番」、「マーラー／交響曲第8番《千人の交響曲》」「マーラー／交響曲第3番」のCDを発売。これまでに、福岡市文化賞、西日本文化賞、文部大臣地域文化功労賞、福岡県文化賞を受賞。

京都フィルハーモニー室内合奏団

1972年に結成。本年創立47周年を迎える。一人一人がソリストの個性派揃いのプロの合奏団。定期公演、特別公演、室内楽コンサート、子供のためのクラシック入門コンサート等を主催すると同時に、各地ホール・教育委員会・鑑賞団体・テレビ・ラジオ・芸術祭等に多数出演している。「クオリティは高く、ステージは楽しく」というポリシーを持った京フィルは、クラシック音楽の他に様々なジャンルの音楽もセンスある編曲を施して演奏し、多くの聴衆を魅了している。国内外の演奏家や指揮者と共演する一方、狂言、文楽人形、津軽三味線、尺八等の日本の伝統芸能とのコラボレーションや、俳優、タレント、落語家、漫才師等の異分野との共演も積極的におこない、“挑戦する室内オーケストラ”と大好評を博している。また創立以来、活動の柱としている学校音楽観賞会では延べ3,000校、190万人以上の子どもたちに楽しい音楽を届け続けている。京都市のパートナーシップ事業とタイアップするなど、積極的に聴衆の育成拡大に力を注いでいる。2000年に特定非営利活動法人(NPO)となる。

平成2年度 藤堂音楽賞受賞。2002年10月イタリアツアーで好評を博す。平成14年度 京都新聞大賞 文化学術賞受賞。2015年度第3回ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞受賞。平成28年度 佐川吉男音楽賞奨励賞受賞。

2006年から社団法人 日本オーケストラ連盟準会員。2019年度よりミュージックパートナーに柳澤寿男氏を迎える。

ビルボードクラシックスオーケストラ

ビルボードクラシックスが主宰するポップスとクラシックの融合による新しい音楽の創出に挑む演奏家たちによる特別編成オーケストラ。2015年以來、玉置浩二、石井竜也、八神純子、福原美穂プレミアム・シンフォニック・コンサートや、ビルボードクラシックス・フェスティバルなど数々の舞台において高いパフォーマンスを發揮し、その豊潤な響きが観客を魅了し続けている。新しい音楽を開拓する意思のもと、関東・関西の主要オーケストラから選抜した俊英演奏家たちが集結。

日本センチュリー交響楽団

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在は50名のメンバーが在籍。飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズと2拠点で定期的な演奏会を開催。

オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、特別支援学校コンサート、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」（豊中市）、「ルシオール街かどコンサート」（滋賀県守山市）等の地域連携事業にも力を入れている。

オフィシャル・ホームページ <https://www.century-orchestra.jp/>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社阪神コンテンツリンク パフォーミング・アーツ部

メールアドレス：bbc@hcl-c.com TEL：(03) 5544-9802 FAX：(03) 5544-9806

ビルボードクラシックス公式ウェブサイト：<https://billboard-cc.com/classics/>